

## 千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.64

【発行】千葉県テレビ伝道協力会  
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2  
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」  
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072  
E-mail: [chiba@life-line.tv](mailto:chiba@life-line.tv)  
ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>  
郵便振替：00110-8-579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台  
2-1 OCCビル  
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650  
E-mail: [mail@pba-net.com](mailto:mail@pba-net.com)  
ホームページ <http://www.pba-net.com>  
でんわ世の光 03-3291-9061

### 米子さんの初めてのクリスマス

市川友愛キリスト教会牧師 田原 昭肥

これは「百万人の福音」1956年9月号にある「奇跡の乙女」と題する記事の始めの部分です。「かねがねお話しはある姉妹よりうかがってはいたのだったが…義手義足の恵まれた姉妹…菱山米子さんが、編集部を突然訪ねてくださったのである。外出から帰ったわたしは、待っておられるとのことで、急いで応接室のドアを開けた。涼しそうな水色の大きなリボンがくるっと動いたかと思うと、ふり向いた可愛い前髪の長い少女は、腰掛けたままニコリ微笑んで挨拶される。(あ、この可愛いお嬢さんが、鉄道自殺未遂で救われた高校生なのだろうか?)…暗い陰のみじんもない清らかな瞳に、優しい微笑…。わたしは虚をつかれると同時に、義手義足のこのような方にわざわざ来ていただいて申し訳ない気持ち先だっ…(中略)

「回心なさったのはいつ?」「魂のお誕生日でしょ?5月21日…去年の。そして、生まれたほうのお誕生日も5月なんです」「そうですか。なんととっても永遠のいのちが与えられたことは、すばらしいことですね」「永遠!そうです。わたしもそれでほんとうに幸せです。どのような代価を払っても、救われた喜びと、永遠のいのちが与えられた感激でいっぱい。五体が完全でも、この短い限りある生命きりで永遠に滅びる…としたらね。わたし、生きててよかった…ほんとに助かってよかった、と思います。(そう言って米子さんは、切断された左腕、左足について説明され、また奇跡的に残された右手の三本の指、親指、人差指、中指が残されたことについて、神様の奇しきご配慮を感謝します。と言いながら説明してくださった…)」

その前の年、1955年の12月、まだ義足ができる前の米子さんは、綿入れの半纏を着て家の中を両膝で歩いては家事全般をしてお姉さんのお手伝いをしたり、聖書の学びに熱中したりの生活を送っていました。ちょうどクリスマスイブの夜、部屋の窓ガラスにろうそくの光が映って、外から歌声が聞こえてきました。急いで窓を開けると、そこには教会の仲間たちが、外に出られない米子さんのためにキャロルを歌ってあげようとやって来たのです。「あんまり嬉しくって、しばらくは言葉も出なかったほどでした。」

私たちの教会も一生懸命に応援している「ライフ・ライン」の放送は、まだ教会に行っていない多くの「米子」たちに福音を届ける、かけがいのない役割を果たしているのではないかと思います。

お茶の間に福音!

毎週土曜朝7時は、千葉テレビ「ライフ・ライン」でお楽しみ下さい。